



## 校長室だより

2023年4月27日  
校長 橋本 顕嗣



### 夢に向かってやり抜く力

4月22日はお忙しいところ、多くの保護者の皆様に授業参観及び懇談会にご参加いただきありがとうございました。感染症対策のため、ご来校いただく時間を分けての開催に御理解・御協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。新しい学年、新しい学級になってのお子さんの様子はいかがでしたでしょうか。何かご心配なことなどございましたら、お知らせください。

さて、前号の校長室だよりでは令和5年度1学期の始業式で、校長の私から学校のスローガンについて、特に「夢いっぱい」について話をしましたとお伝えしてしました。この夢を持つことの大切さについて、仙台市教育委員会から令和4年度「学習意欲」の科学研究に関するプロジェクトリーフレットで「夢に向かって！やり抜く力を育みましょう！」が発行されていたので紹介いたします。このリーフレットは仙台市標準学力検査、仙台市生活・学習状況調査の結果の分析結果に基づいています。それによると、**将来の夢をかなえたいという強い気持ちを持って勉強することで、学習の効果に良い影響があるといえる、将来について家の人と話し合っている子どもたちは夢を持ち続けている割合が高いという結果**だったとのこと。さらに『「やり抜く力」を育てるために子どものチャレンジを後押ししましょう！』、『**将来の夢や目標の達成に向けて普段から話し合う機会を持ちましょう！**』と呼びかけています。私が特に注目したのは将来について家の人と話し合っている子どもたちは夢を持ち続けている割合が高いということです。努力するから夢がかなうというよりも、夢があるからやり抜く力が育まれるということでしょう。

では、家庭で具体的にどんな話し合いをすればよいのでしょうか。「〇〇を目指すのはいいけどかなり難しいだろう。」とか、「それになれるのはほんの一握りだな。」とか言われると気持ちが萎えてしまいそうです。また、「今日は将来について話し合おうぞ。将来何になりたい？」と唐突に聞かれても「わからない」とか「別にない」という話になりがちではないでしょうか。そこで、例えば、お子さんと一緒に有名な人物についての話題で会話したり、仕事や資格について一緒に調べたりすることなどは有効であると思います。とにかく、折に触れて話す、語る、お子さんの夢や将来の希望についての話を否定しないで聞くことが大切であると思います。もう一つ注目したいデータとしては小学校3年生の約90%は将来の夢や目標を持っているということです。大人として子どもたちの夢を育み、後押ししてあげたいものですし、子どもたちの夢を後押しする社会であるべきです。

もうすぐ、大型連休を迎えます。各ご家庭で子どもたちが過ごす時間となりますが、その時間が子どもたちの夢を育む時間でもあってほしいと願っています。

※詳しくは仙台市ホームページ（仙台市教育委員会）

「学習意欲」の科学研究に関するプロジェクトでぜひ検索してください。

### 〔 お願い 〕

今後も「学校だより」「校長室だより」「学校ホームページ」等で学校からの情報発信に努め、風通しの良い学校を作っていくために努力して参ります。御意見、御提案、御要望等は随時学校までお知らせくださいますよう、お願いいたします。